

平成29年12月28日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(88回公演)報告

29.12.27 デイサービスセンター「いずみ熊谷」 熊谷市平戸

年末の押し迫った今年最後の公演です。

この施設へは度々伺っており、勝手がわかっているので開演時間2時に合わせ現地集合としました。1時20分には5人全員が集まり施設に入りました。

予め暖かくしておいてくれた部屋に通され、公演衣装に着替えて開演を待ちました。

食事に使用する大きなホールが今日の公演場で、立派な舞台が備わっています。

今日の皆さんはデイサービスの方々です。約30人と職員8人程が既に待っていてくれました。今日のお客さんは男性の方が多く驚きました。そして施設側から短い紹介を受けた後、マイクを戴き公演に入りました。最初に舛田さん担当の「南京玉すだれ」です。

口唄に合わせて次々に変わる「玉すだれ」の形に、時には大きな拍手が沸きました。

「玉すだれ」のトークの中で、「すだれ」の解説の中で、「南京の付く品物、どんなものがありますか？」という問題には「南京豆」や「南京錠」などの答えが返ってきて、利用者の方と大いに交流ができました。次の「玉すだれ体験コーナー」では、実際に「すだれ」を持ってもらい、多くの方から「考えていたより重いですね。これを操るのに感心します。」という印象も戴きました。その後阿弥陀如来の形状をした「すだれ」を持ち、職員の方からの記念写真に収まっていました。「きよしのズンドコ節」の演舞の時には、多くの方が手拍子で応えてくれました。最後に「東京五輪音頭」を舞って50分の公演が終わりました。



